

第5回 公開講座報告

「文章の理解の基礎学習」

～スモールステップによる間違えさせない系統的な学習～

8月20日(土)に第5回公開講座を越谷中央市民会館で行いました。今回は「文章の理解の基礎学習」です。講師は宮城武久(つばき教育研究所 理事長)です。文章を読んで質問文に答えられるようになり、内容が分かるようになるための方法を学びました。

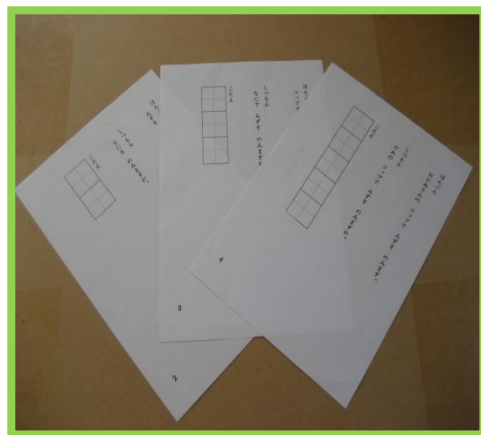
本文を読み、質問文を読んで答えを考えていく学習過程で最も大切なことは、

- ・本文をよく見て答えが書いてある文を探し出すこと。
- ・その文から答えを抜き出すこと。

この過程が考える力を育てることにつながります。

問題作成について以下の話がありました。

- ・本文の作成では、文の助詞の数、文の数、文章の種類などを考慮すること。
- ・質問文の作成では、表現の仕方で質問の難易度が異なってくること。
- ・解答欄はマス目の有無やマス目の数などを工夫すること。



演習では、読み方のステップ、答えが出なかった時の対応、褒め方、子どもの目を見て進めることなどを学ぶことができました。

《参加された方の感想》

文の読解方法について具体的に教えていただいたので、大変勉強になりました。本文にないとき、どうしても答えを誘導するような言葉かけを行っていました。自分の反省すべき点にたくさん気付くことができました。

小学校教諭

子どもに対して、とても丁寧な指導の仕方を教えていただいてよかったです。「答えはどこに書いてありますか。」「答えは何ですか。」「答えには何と書きますか。」といった発問の使い分けや、指導の流れは、子どもの理解の流れ、思考の流れに沿った方法でした。

特別支援学校教諭